

## 府中市議会・市政レポート

# いなづ 稲津 けんご



### 今号の主な項目

- 1面 【決算審議】「討論」の意味を踏まえて賛否を示す
- 2面 【委員会から】新市庁舎はいつから稼働するの？
- 3面 【一般質問】セルフネグレクトと真剣に向き合おう
- 4面 【議会が謎だから聞いてみた】 8. 議員の氏名表記

## 決算審議 「討論」の意味を踏まえて賛否を示す

### ● 単なる意見表明の場ではなく

2022年の9月議会では、令和3(2021)年度の決算審議が行われました。本会議最終日には、決算に対する賛否討論が行われ、稲津けんごは、賛成側で意見を述べました。

しかし、ここで「私はこう思います」と述べるだけでは「討論」とは言いません。賛成の立場である以上、反対する側に「こういう点に注目すべきだ」「この意見には異論がある」などと呼びかけ、再考を求めることが、討論に求められていると考えます。時に厳しい表現も出しましたが、聞き手に問いかけ、同意を求めることに努めました。その中で1つ、強調したいことがありました。



### ● 「木を見て森を見ず」に込めた意味

稲津は、賛成討論中に「木を見て森を見ず」という発言をしました。これは元々「小さいことに心を奪われ、全体を見通さないこと」を例えた表現ですが、反対討論の中で、ピンポイントでの指摘が強すぎるあまり、対象の事業や施策全体への評価がなされていないことを憂いて述べました。

確かに、ピンポイントで見ると引っかかる点もあります。しかし、市が行った事業や施策の全体像を見ると、高く評価できるものが多く、稲津を含め、会派(市民フォーラム)全体で、今回の決算に賛成しました。

賛否討論後の採決の結果、賛成多数で認定されました。



## 予算審議 「ふちゅちケ」改善への模索は続く

### ● 「デジタル商品券」と「紙商品券」で販売

府中市の地元応援商品券(プレミアム付き商品券)「ふちゅちケ」の第3弾が、2022年10月に販売されました。今回は、スマートフォンを使う「デジタル商品券」と、紙による「紙商品券」の2種類です。今回、実際に券を購入した方から、いくつかの問題点が指摘されました。

### ● 「デジタル商品券」は、使う前からつまづいた？

デジタル商品券を使うためのアプリを準備・登録する段階で、「ログインできない」「登録情報にエラーがあると出る」「入金できない」などのトラブルが多く報告されました。窓口にお問い合わせると解決するのですが、対応された方も、大変な思いをされたのではないのでしょうか。

### ● 「紙商品券」は、買いに行くこと自体が試練？

一方、紙商品券は、市中心部の指定場所で販売されたのですが、実際に購入された方からは「列が長く、雨の中で並ばないといけなかった」「スマホを使えないから、遠くから紙商品券を買いに出た」などの声があがりました。販売場所や誘導方法に課題が見えてきました。

### ● 上限まで買えていないのに、なぜ「再販売」？

デジタル商品券を買った方から「上限5セットで申し込み、抽選で3セットとなった。その後、再販売があると聞いたが、あの時2セット買えなかったことが腑に落ちない」という意見がありました。券の準備・余剰量によっては、抽選方法を見直す必要がありそうです。

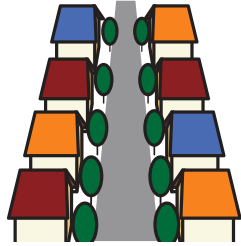
## 一般質問 【9月議会】 一大転機となるかもしれない

# 北山町・西原町のまちづくりの行方

### ● 道路が変える「まち」の景色

2021年に策定された「北山町・西原町地区まちづくり誘導計画」を受け稲津は、まちづくりが加速していくのではないかと期待しています。2つの町を見ていくと、木造住宅密集地域ゆえの火災の危険性や、高齢化による空き家の増加、道幅が4m未満の狭い道路の問題など、様々な課題に立ち向かう必要があります。

2つの町が「賑わいと支え合いのまち」となるべく、市がどのように取り組んでいるのかを尋ねました。ここで鍵となるのが、都市計画道路と三井住友銀行研修所の跡地利用、その周辺の用途地域変更案でした。



### ● 住民は今、何を思う

「用途地域」とは、建てられる建物が決められたエリアのことで、北山町と西原町は第一種低層住居専用地域（低層住宅や小規模店舗、小中学校などが建てられる）となっています。市が実施したアンケートでは、都市計画道路の沿道地域の住民からは、用途地域はそのまま良いという意見が多いのですが、全域で見ると「第一種中高層住居専用地域（中高層の住宅や病院、500平米までの店舗などが建てられる）」を希望する住民が多かったようです。

今後実施される「まちづくり協議会」で方針が決まり、まちの未来が動くこととなります。



## 委員会から 【9月議会】 ここに来ての大打撃

# 新市庁舎はいつから稼働するの？

### ● 計画や図面通りにはいかなかった

2021年から始まった、府中市役所の新庁舎建設。当初は2023年2月に「おもや」と呼ばれる本庁舎が完成する予定でしたが、資材調達や人的資源の確保がままならず、内装に使うアルミサッシの設計変更が発生したことなども重なり、2023年5月まで延期されることになりました。この報告を受けた9月議会の市庁舎建設特別委員会では、原因究明を求める声や、責任の所在を問う意見が多く聞かれました。

工事受注者と工事監理受託者から回答が得られたことを受け、11月に急ぎ、委員会が開催されました。市側からもさらに説明がなされ、工期変更が委員会です承されました。



### ● その後のスケジュールも押すことに

「おもや」の完成が遅れるとなれば、移転や現市庁舎の解体の時期も当然ながら遅れることとなります。11月開催の委員会では、2023年8月中旬に「おもや」への移転作業を行い、翌9月から現市庁舎の解体作業を始めることが報告されました。その際、埋設物調査を同時並行的に行うことから、解体の作業期間が3ヶ月短縮されることも市から報告されました。

稲津は当委員会に所属していませんが、工期変更への賠償請求と、移転に伴う職員の過重労働について、強く懸念しています。また、現場で工事に携わる方へのケアが十分になされてほしいと思っています。



## ひといき 「社会経済活動の回復」とは言うものの

# 議員視察再開 コロナ禍ゆえの苦労と苦悩も

### ● 受け入れ側の心意気に感謝

例年、各常任委員会と各特別委員会、議会運営委員会では、取り扱う内容に関連した事業や政策を学ぶために「議員視察」を行っています。ここ2年ほどはコロナ禍で実施されませんでした。2022年は全て再開されました。

ただ、議会事務局が何十件も問い合わせようやく受け入れ先が決まったり、新型コロナの新規感染者が増えて視察地の職員が対応に追われたりするなど、申し訳なく思う点もありました。視察に出るには、さらなる慎重さが必要です。



### ● 視察だって「テレワーク」で!?

新型コロナが広まって以降、業務に情報通信技術を活用した「テレワーク」を勧める動きが強まりました。そんな中、他の地方議会では、受け入れ先とオンラインでつなぎ、それぞれの地元で居ながら意見交換をする「オンライン視察」が実施されたそうです。視察がテレワークのできる時代になったのです。

建物の中を歩いたり、対象物を手に取ったりすることはできませんが、双方の意見を広く聴けるのは良いことかもしれません。「視察費用（つまり税金）のムダをなくせる」という意見も聞こえてきそうです。



## 一般質問 【12月議会】これは誰にでも起こりうること

# セルフネグレクトと真剣に向き合おう

### ● 当人がそうであると気づいていないゆえに

「セルフネグレクト(自己放任)」とは、生活状況が悪化しているのに、改善する気力を失い、さらに状況が悪化したり孤立したりすることを指します。このことが「ゴミ屋敷」や「孤立死」などの要因になるとも言われ、早期発見と支援が重要となります。

そこで、市の認識を尋ねたところ「切れ目のない支援を行い、つながり支え合う地域づくりが肝要だ」と、市長から答弁がありました。また、担当課からは「本人以外からの通報で把握することが殆ど」とあり、市としても「見守り活動」が大事であるとの認識を示しました。



### ● サインを見抜いて命を救う

全国には「郵便受けに新聞がたまっている」「雨戸が閉まったまま」などの異変から、自室で倒れている人を発見し、命を救った事例が複数あります。また、ある自治体では「お元気ですか」と声をかけてもらえるのが嬉しいからと、安否確認サービスを利用される方が増えているという話もあります。人の支援が命をつないでいることがよく分かります。

市では現在、9つの団体と協定を結んで高齢者の見守り活動を行っています。稲津は賛同する企業や団体を増やし、セルフネグレクトも見守りの対象に加えることを要望しました。



## 一般質問 【12月議会】自分をケアして暮らしやすく

# セルフネグレクトを未然に防ぐには？

### ● 専門業者の指摘に複数の意味

稲津は、ゴミ屋敷清掃業者と話す機会があり、ゴミ屋敷になる理由に「ごみの出し方が難しい」というものがあると聞きました。分別を誤って近隣の方に怒鳴られたり、夜勤で指定時間にごみを出せなかったりして、ごみを室内にため込むケースは珍しくないとのことでした。

また、粗大ごみを出す体力がない方や、出すまでの過程が大変だと感じる方も多いようです。市では粗大ごみをする際にシールを購入する必要がありますが、実はシールの販売がない町は複数あります。

稲津は、ごみ出しへの不安をなくす対応と、どの町にも粗大ごみシールの取扱店舗を設けることを市に要望しました。



### ● 防災でセルフネグレクトを防ぎながら終活だ

稲津は、セルフネグレクト予防の一つとして「防災」の視点でのアプローチを考え、20項目のチェックリストを作成しました。本会議場では内容を発表しませんでした。担当課には一般質問の前にリストを提出しております。

リストの中には「室内に十分な通路があるか」「自分の身長より高い所に物を置いているか」などの項目があります。転倒や落下防止、避難路の確保という面では防災ですが、物の整理と見ればセルフネグレクト予防や終活にもつながります。そして何より「暮らしやすさ」が加わります。

このリストを軸にした一般質問は、次回、3月議会に行く予定です。



## 本会議から 【12月議会】ワクチンの同調圧力が気になるところ

# 十分な情報提供で保護者の適切判断を導こう

### ● 改めて「ワクチン」の考え方を整理しよう

新型コロナに対するワクチン接種は現在、生後6ヶ月以上の子どもにも拡大しています。しかし、子ども自身がワクチンを接種の是非を判断することは困難です。また、保護者が是非を判断しようにも、情報が不十分と感じられたり、誤った情報が広まっていたりするのも事実です。

そこで、政府に対して、新型コロナワクチンに関する十分な情報提供を求める意見書が議員提出議案として出されました。提出者と賛同者は厚生委員で、稲津も賛同者に名を連ねています。本意見書について、稲津は他の議員との調整も行っていました。



### ● 全会一致…かと思いきや

今回の意見書は、公明府中のみ反対し、それ以外が全員賛成としました。反対理由は「国でも既に十分な情報提供をしており、改めて言うことではない」といった内容でしたが、考え方を整理するという点で意見書の意味は大きいと感じています。

### ● 接種できない方への配慮も

現在、ファイザー社とモデルナ社のワクチンが主流となっていますが、どちらも接種できない方がいらっしゃいます。ワクチン接種が強制でないことも、改めて認識すべきことです。



# 次回 議会 2月17日～3月17日開催予定 予算審議も

メリハリがかった議論を市民目線で

## ● 第1回定例会では丁寧な予算審議を

令和3年度の決算や、これまでに組まれた補正予算も踏まえながら、令和5年度の予算が議論されます。コロナ禍や物価高などを考えると、補正予算を一切出さない一般予算とはなりにくいのですが、既に提出した予算要望や各議員の動向、行政側の計画などを総合的に考えていきながら、踏み込んだ議論ができればと思っています。

インターネットでは、総括質疑、賛否討論（実施される場合のみ）、採決の中継が予定されています。

## ● 改選後は5月に臨時会、6月に定例会

4月に府中市議会議員選挙が実施されます。その後の臨時会で議会人事が決まり、6月に新たな顔ぶれでの本会議（定例会）が実施されます。

## ● 新たな本会議場は利用開始時期未定

市庁舎建設が進み、5月の臨時会から新たな本会議場に移る予定でしたが、設計変更や資材の納品遅延などから、工期が遅れています。詳細は追って報告します。



### 【本会議（一般質問など）】

→ インターネット生中継あり。録画保存もされる。



### 【委員会審議（常任・特別・議会運営・予決算）】

→ 生中継されることもあるが、録画保存は無い。



### 【各派代表者会議】【委員協議会】

→ 生中継なし。（本来は公開すべきものです）



← 府中市議会を知る  
日程や議案など、議会情報は  
こちらの二次元コードから

府中市議会を見る →  
本会議インターネット中継は  
こちらの二次元コードから



教えて！  
稲津さん

## 議会が謎だから聞いてみた



### 【質問8】



本当は漢字表記なのに、名前をひらがなで書く議員さんが居るけど、あれってどうして？

### 【稲津けんごが答えます】

#### ● ひらがなで記す理由は？

実は私もそうですね。「稲津けんご」と書いています。しかし、実際に「けんご」を漢字で書くと「憲護」となり、「結構難しい」と言われることがあります。手紙や名簿などで、誤った漢字を充てられたこともありました。

府中市議会では、2019年から、本人の届出に応じてひらがな表記が認められるようになりました。私は今のところ、議会においては届け出ていないのですが、読み書き間違いを防ぐ他、常用漢字でないことを考慮して、ひらがな表記を使っている議員も居ます。

## ● 質問に関連して、「通称名」の取り扱いとは？

府中市議会では、結婚で戸籍上の苗字が変わったものの、旧姓で議会活動したい場合には、届出をすることで旧姓を使うことが認められています。選択的夫婦別姓が実現すれば、こうした届出は必要なくなるかもしれませんが、生まれた時から愛着のある苗字で活動したいという声に応えられるようになっています。

府中市議会ではまだ実例がありませんが、国会や他の地方議会では、芸名やリングネームなどで議会活動したい場合に、その名前を届け出て使うことが、多く認められています。

「覚えてもらえる」「馴染みがある」名前でも活動したいという思いは、私も強く感じます。



一瞬「ん？」と思っ  
てしまうかもしれ  
ない氏名の表記。



自分も相手も分か  
り合える名前も大  
事なんだね。

## お知らせ

寒い日が続きますが、心は温かくいきましょう

## 市政報告と市政相談 元気に実施中

### ● 市内の駅で「今」を伝える

毎週月曜日の朝は、祝日や年末年始、荒天時を除き、分倍河原駅改札口にて市政報告を実施しています。時間は朝7時からですが、始発（5時頃）から行う場合もございます。また、不定期ではありますが、西府駅、中河原駅、西国分寺駅などでも実施しています。

### ● 相談窓口（事務所）もご活用を

北山町に稲津けんご事務所を開設しています。稲津不在のこともありますが、平日9時から17時まで開いています。ちょっとお話をしたい方も、気軽に足を運んでください。



タウンミーティングより  
(2018年)

### ● 稲津けんご略歴

1968年北山町生まれ・西原町在住。府中七小、私立和光中、都立狛江高卒。米・サウスアラバマ大学学士号、米・ピッツバーグ大学院修士号取得。

厚生委員会、学校施設老朽化対策特別委員会に所属。

2023年4月に府中市議会議員選挙があります。  
同月は、選挙に関連した後援会通信を発行します。  
公式サイトやSNSでも随時、活動報告をしています。



← バックナンバー  
過去のレポート(PDF)は  
こちらの二次元コードから



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。